

News Release

アニメ ちびまる子ちゃん 「5月のさくらももこ脚本まつり」がはじまるよ！ ～5月2日(日)から5週連続放送～

日本アニメーション株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:石川和子)がアニメーションの制作・ライセンス管理を行う『ちびまる子ちゃん』では、5月2日(日)の放送から5月30日(日)まで、「5月のさくらももこ脚本まつり」をお送りします。この企画は過去アニメ用に書き下ろした、さくらももこ脚本の中から人気の高い5作品を選び、新規作画・演出でお届けするものです。初めての方はもちろんのこと、以前ご覧頂いた方も新たに楽しめる人気企画になります。また、4月よりナレーターを務めている、きむらきょうやさんの「後半へ続く」初のお披露目も、是非お楽しみに。

あらすじ

【5月2日(日) 1286話】

『まる子 テストで100点をとる』の巻

明日は算数のテスト。友達と一緒に勉強する者、いつも通りに過ごす者...いろんな人間模様が広がる中、まる子はどうする？そして次の日、いよいよテストが始まる...!

【みどころ】まる子が100点を！？その驚きの結末はさくらももこ脚本ならではの。そして4月よりナレーターを務めている、きむらきょうやさんの「後半へ続く」初のお披露目です。

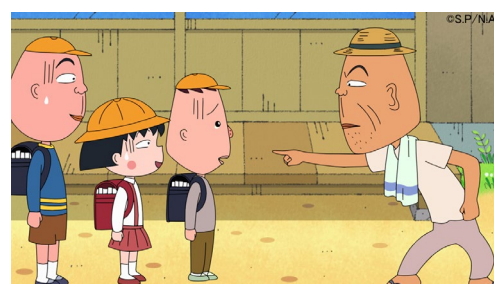


【5月9日(日) 1287話】

『アロエを植えよう』の巻

植物図鑑でアロエが健康にいいことを知り、すっかり夢中になったまる子。アロエがあれば、今日から我が家は医者いらず！と張り切ったまる子は...

【みどころ】体にいいというアロエをたくさん育てているはまじのおじいちゃんから目が離せません。あなたも、アロエがきつと欲しくなるはず...!



【5月16日(日) 1288話】

『お母さんの髪型』の巻

ブー太郎のお母さんが、美容院で髪の毛を切ったのだが、とんでもなく変な髪型になってしまい、物凄く落ち込んでいるという。学校帰りにブー太郎のお母さんにバツリ会ったまる子たちは…？

【みどころ】思い通りの髪型にならなかったショック。その時、家族は？周りは？髪型をめぐる人間模様にご注目！



【5月23日(日) 1289話】

『東京タワーへ行こう』の巻

テレビで東京タワーを見たたまちゃんのお父さんは、突然東京タワーの写真を撮りに行こうと思いつく。たまちゃんに誘われ、まる子は大喜びで一緒に行くことに…。

【みどころ】たまちゃんのお父さんの、写真を撮りたいがための行動力。まる子たちが見た風景をどうぞ一緒にお楽しみください。そしておみやげ売り場で見つけた“あるもの”とは…？

【5月30日(日) 1290話】

『永沢君の思いがけないお手柄』の巻

このところツイていない永沢はイライラが募る。些細なことでクラスメイトに憎まれぐちばかり。みんなに意地悪してやろうと思う永沢は、藤木にテストの範囲を聞かれ、ウソの範囲を教えたつもりが、なんと当たってしまい…？

【みどころ】永沢の心の声と、行動、そして、周りのクラスメイト達の反応が見事に交錯し、展開していきます。初回放送時に反響のあった、あの、永沢の姿が見られるかも？

◆プロデューサー：高野舞コメント

「ご好評を頂いております脚本まつりを今年も開催いたします！さくら先生書き下ろしの人気脚本から5作を厳選しております。新たな演出でお送りしますので、ご覧になったことのあるお話も新たな発見や、以前と違った楽しみ方をして頂けると思います。この機会に、ご家族そろって『ちびまる子ちゃん』の人気作を是非ご覧ください！！」

<番組概要>

■タイトル

『ちびまる子ちゃん』

■放送日時

毎週(日)18時～18時30分放送

■キャスト

まる子(声:TARAKO)

お父さん(声:屋良有作)

お母さん(声:一龍齋貞友)

おじいちゃん(声:島田 敏)

おばあちゃん(声:佐々木優子)

お姉ちゃん(声:豊嶋真千子)

ナレーター(声:きむらきょうや)

他

■スタッフ

原作:さくらももこ

脚本・制作協力:多田弘子(さくらプロダクション)

プロデューサー:高野 舞(フジテレビ)、田中伸明(日本アニメーション)

監督:高木 淳(日本アニメーション)

制作:フジテレビ、日本アニメーション

公式サイト https://www.fujitv.co.jp/b_hp/maruko/

ちびまる子ちゃん公式サイト <http://chibimaru.tv/>

参考資料

『ちびまる子ちゃん』について

『ちびまる子ちゃん』は、静岡県清水市(現・静岡県静岡市清水区)を舞台に、そこに暮らす一家・さくら家の次女である小学3年生のまる子(さくら ももこ)と、家族や友だちとの日常を、楽しく面白く、時に切なく描いた心温まる作品です。

1986年に『りぼん』(集英社)で連載を開始し、原作コミックスは全17巻が発売中。発行部数は累計3,250万部を突破(デジタル版を含む)、海外版は台湾・中国・タイ・マレーシア・韓国でも出版されました。1990年からはテレビアニメ放送もスタートし、フジテレビ系列で毎週日曜日夕方6時より放送中。中国、台湾、香港、インドネシアなど海外でも放送され、世界中の老若男女を魅了し、長きに亘り愛され続けています。



©さくらプロダクション/日本アニメーション

<本件に関するお問い合わせ先>

日本アニメーション株式会社 広報・宣伝担当:村岡

電話:080-1250-4046 E-mail:muraoka@nippon-animation.co.jp

※画像掲載の際は画像下部に記載のコピーライトをご使用いただきますようお願い申し上げます。

©さくらプロダクション/日本アニメーション